

区老連だより

垂水区老連

第50回「楽しいつどい」を開催!

垂水区老人クラブ連合会主催の第50回「楽しいつどい」は令和7年9月20日(土)垂水区文化センター「レバンテホール」に於いて、垂水区役所後援のもと兵庫県神戸県民センター助成事業として、第1部「第50回記念式典」、

第2部「演芸発表会」を開催しました。

第1部では区老連松木会長より区老連活動への理解および第50回「楽しいつどい」を開催出来たことに対し、各界関係者への感謝の意を表明。次に来賓挨拶では垂水区若



松区長から区老連の永年の活動を称え、区の重点課題、特殊詐欺防止、空き家対策、国勢調査などに触れながら祝辞挨拶がありました。

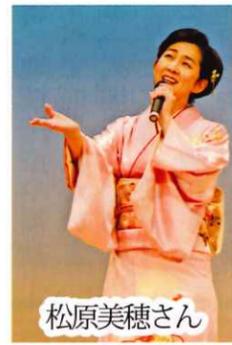
続いて兵庫県神戸県民センター内藤センター長から、敬老の日の発祥が

兵庫県からだったという興味深い話があり、白寿、百寿のさらなる長生きで、茶寿108歳、皇寿111歳、大還暦120歳などを紹介されました。最後に市老連毛利事務局次長が老人クラブの減少について報告され、増やす取り組みについて言及されました。

第2部「演芸発表会」

では、合計18クラブによる演芸が披露され、ダンスあり手品ありで、昨年の開催から練習を重ねた成果を発表する158名の出演者と、応援のため駆け

付けた会員の方々の熱気で盛り上がりました。第2部の最後には、垂水区舞子坂出身のプロの歌手、松原美穂さんの歌謡ショーがあり、会場の会員とのデュエットや客席での握手会等で盛り上がりフィナーレ。延べ480名近くの会員が参加した第50回「楽しいつどい」が大成功裏に終了しました。



市老連の大会に繋がるように期待したいです。

また、地域社会が人口減少、高齢化の中、何よりシニア世代の生き甲斐ある居場所が重要です。熱心に健康友愛奉仕の地域貢献となる日常活動を進めつつも、会員減少の傾向は、灘区老連40周年時4,240名、50周年時3,871名と止まりません。



トボール大会は愛好者が減り、市老連主催の大会も危ぶまれています。誰でも簡単にできることも新たな会員には必要ですが、日々熱心に練習に励んでいる灘区の4チームに加え、技量・作戦・チームワークで進行するゲートボールの醍醐味を知る仲間を少しずつ増やし、単位クラブの活動をステップに

スポーツ事業では、グラウンドゴルフと輪投げの大会はほとんどのクラブからの参加があり、いつも大盛会です。また、新たに誰でもできるポッチャヤモルックが登場していますが、老人クラブ伝統のゲ

このたび市老連が本腰を入れて企画した「KOBESニア希望塾」に灘区老連は4クラブ7名を推薦しました。令和7年11月17日(月)その7名は区役所での会長会議に参加し、小谷会長から紹介と激励を受け、午後の開講式に出

須磨区老連

コスモスの丘散策、最多来場者の演芸大会

須磨シニアクラブ恒例の「秋季ハイキングコスモスの丘散策」は、本年度から女性委員会の世話により令和7年10月11日(土)に実施した。

各クラブ会員が総合運動公園前の広場に笑顔で集合し、冒頭、高見会長が「須磨区の花・コスモスの咲き具合は昨年に比べて良さそうです。安全を第一にして、ハイキングを大いに楽しんでください」と挨拶。次にこの日参加の11クラブ119名全員の集合写真を撮った。

このあと広場をスタートし、運動公園案内所を経て、ユニバー競技場南のユニバー坂を登りきって「コスモスの丘」に到着。その南斜面に4,000㎡のコスモス畑が広がる。咲き誇るコスモスを指さして「きれいに咲いている」などと言いつつ、ゆつくりとコスモス畑を降りていく。ゴールの水の上ステージでは空くじ

また、10月19日(日)には須磨区文化センター4階大ホールで「演芸大会」を開催した。遊遊クラブのコーラスを皮切りに、東須磨永寿会のコーラス、菅の台ひいらぎ会の新舞踊、白川台むつみ会の民謡、須磨百寿会のハンドベルと歌、東落合シルバークラブのカラオケ、東白川台ホワイトクラブの民謡、赤松優バレエ学園、横尾シニアクラブのフラダンスの順に出演、最後は神戸市立須磨翔風高等学校の若さあふれる吹奏楽演奏。とりわけかわい子どもたちのバレエと須磨翔風高等学校の演奏には割れんばかりの拍手となり、会場のボルテージも最高潮に達した。



いずれ劣らぬ熱演のあとはお楽しみの抽選会で、またまた会場は大盛り上がり。来場者は347名と、かつてないたくさんの方々にお越しいただいた。



灘区老連は昭和38年8月に創立、今年で63年!第11代目の温厚な小谷会長を中心に42クラブ、2,719名の会員が多彩な活動に参加しています。灘

「KOBEシニア希望塾」に期待 創立63年目飛躍の千年へ

灘区老連